



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン

名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
 ■会長 / 鈴木 清詞 ■幹事 / 坂本 晃 ■会報・雑誌・広報委員長 / 江松 央統
 ■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

第1152回

2015年10月6日(火) 晴 第12回

～ 経済と地域社会の発展月間 / 米山月間 ～

斉唱 君が代、四つのテスト
 出席 会員 55名 (出席率算入人数 48名)
 出席 38名 出席率 79.17%
 前々回補填率 89.13% (9月15日分)
 ゲスト 米山奨学生 楊 光心さん
 ビジター 奄美 RC 福永 健一さん

10月の誕生日

8日 新原 尚さん 8日 筧 恵理さん
 9日 屬 ゆみ子さん 13日 大平 明子さん
 19日 森田敏二三さん 30日 坂本 晃さん

配偶者誕生日

9日 児島由利子さん 18日 江松 友希さん
 22日 加藤 恵子さん 22日 坂田多喜男さん
 25日 武藤 たかさん 27日 小島 信子さん
 30日 木下けい子さん

会長あいさつ

会長 鈴木 清詞さん

皆さまこんばんは。本日は、奄美RCの福永健一さん、遠路遙々、当クラブの例会にご参加いただきありがとうございます。どうぞごゆっくりご歓談ください。また、本日はイニシエーションスピーチということで、日下さん、高橋さん、後ほど楽しみにしております。



本日は、ふるさと納税について少しお話させていただきます。皆さまの中にも既にふるさと納税をされている方もいらっしゃるかもしれませんが、最近、私自身や周りの人たちもふるさと納税をしています。それぞれの市町村の特産物がいただけたり、最近では確定申告も必要がなくなり、非常に簡単に行えるようになりました。寄付金額も2,000円からできるようになっておりますので、皆さまもぜひトライしてみてください。

幹事報告

幹事 坂本 晃さん

1. 海外出張届が出ております。三浦 隆さん、10月6日(火)～13日(月)まで、行き先はカナダです。
2. 本日、ワールドフード・ふれ愛フェスタのチケットをお配りしています。24日の集合場所は、ロータリーブースで、チケットを使われない方は戻してください。
3. 10月9日(金)より、国際奉仕委員会の一部の方が、ネパールへ行きます。不足している暖房器具など持参し、現地に必要なものなど聞いていただきます。

ニコボックス

- ◆ 名南RCの皆さん、こんにちは。ご無沙汰しています。今年度もよろしくお祈りします。

福永 健一さん

- ◆ 本日はイニシエーション・スピーチです。宜しくお願いいたします。

日下智重子さん

- ◆ イニシエーション頑張ります。宜しくお願いします。

高橋 司さん

- ◆ 18日は私共結婚55周年、揃って健康です。又19日は私の満81歳の誕生日です。感謝を込めてニコボックスさせていただきます。

森田敏二三さん

- ◆ 本日は日下さん高橋さんのイニシエーションスピーチです。楽しみにしています。

- ◆ 大村智さん、ノーベル賞受賞おめでとうございます。

坂田 信子さん 武藤 正行さん 安藤 修さん
 中村 勝さん 新原 尚さん 白藤 憲雄さん
 杉山 隆秀さん 山本 郁矢さん 犬飼りさ枝さん
 佐々木元彦さん 鈴木 一博さん 伊藤 圭一さん
 朝比美和子さん 有川 英敏さん 久米 伸治さん
 長尾 浅吉さん 猪村 美之さん 木村 猛さん
 三浦 和人さん 鈴木 清詞さん 川瀬 悟さん
 本多 利郎さん 江松 央統さん 宮崎 良一さん
 出田真太郎さん 坂本 晃さん 牧野 好弘さん
 大平 明子さん

本日合計 47,000円 累計 288,000円

委員会報告

- ローターアクト委員会 委員長 木下 福郎さん
 本日ローターアクトに関するアンケートをいれさせていただきますので事務局まで回答をお願いし

ます。それとともにワールドフード・ふれ愛フェスタの際にバザー用物品ご提供のお願いが届いております。ご協力いただける方はよろしく申し上げます。

同好会報告

■混声合唱団 川辺 清次さん
名古屋大須RCより家族忘年会において宇崎竜童の弾き語りライブを行うという案内が届いております。参加ご希望の方は大須RCへ申し込み願います。

■ゴルフ部会 木村 猛さん
遠征ゴルフコンペが明日となりました。県営名古屋空港のFDA搭乗手続きカウンター前に6:50集合です。遅れないようお願いします。

アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

イニシエーションスピーチ

◆日下智重子さん

皆さま、こんばんは。今年の7月7日、七夕の日に属様のご推薦により入会させていただきました日下智重子と申します。名南RCの皆さまと数々の興味深い活動に参加させていただき既に約3ヵ月、属様は本日ご欠席でいらっしゃいますが、この場をお借りしてこのような機会を頂戴致しましたこと、深く御礼申し上げます。イニシエーションスピーチということで、私自身についてお話をさせていただきますので、暫くの間どうぞお付き合いください。



私は1964年、日本に新幹線が開通し、東京オリンピック開催の年に、名古屋市で生まれました。当時、父は祖父から引き継いだ会社の事業を拡大するため、多忙を極めていた時期だったと聞いております。その後、妹たちが三人、最後に弟が生まれ、私は五人兄弟の長女になりました。母は何かを「してはいけない」とは言っても「しなさい」と言ったことは一度もなく、大変自由に育ててくれました。

高校生の時、両親が国際交流の一環としてCISVという団体を通じ、夏休みの間アメリカのフィラデルフィアへ交換留学をさせてくれ、これを機に海外への興味を持つようになりました。CISVはChildren's International Summer Villageの略で、当時、鹿島建設の渥美会長が理事長をされていた、国際交流・奉仕の組織です。日本では両親が自分の子供の費用を用意し海外に派遣していますが、海外の国々では寄付金を集め、選ばれた子供を派遣していますのでロータリーの奉仕活動に通じるところがあると思います。当時の交換留学のパートナーとは35年経った今も時々連絡を取り合い、家族ぐるみで仲良くお付き合いをしています。

大学卒業後、1989年に「名古屋デザイン博」が開催された折には、会場でVIPアテンダントを勤めさせていただきました。博覧会が終わると、カナダのバンクーバーに短期留学し、プリティッシュ・コロニア州のSuper Hostという旅行業の資格を取得し

て帰国致しました。その後、当時伏見にオープンして3年目の名古屋初の外資系ホテル、名古屋ヒルトンに広報部副支配人として社会人の第一歩を踏み出しました。国籍も様々な職場で、ホテル業の基礎を勉強し、ここで培った2年間の経験は、その後の人生に大きな影響を与えるものとなりました。

私が台北に移り住み、台湾の師範大学で中国語を勉強し始めたのは1994年です。ちょうどこの時期、日本はバブル崩壊後で、台湾は逆に世界の電子産業の重要な拠点の一つとなり、インフラも整い、その経済も急成長を遂げる時代でした。中国語圏への移住は言語・文化の大きな差もあり、決して平坦な道のりではありませんでした。しかしこの地で言語の習得が進み、現地での友人が増えるにつれ、また、お声掛けいただいた台湾ホテルチェーンの仕事を通じて、台湾人のダイナミックな発想とスピードを重視する経営を直接体験することができました。

こうした環境の下で、3年後には現地の日航ホテルで営業部と予約センターを統括する、営業部部長のポジションに就く機会に恵まれました。この頃は、昇進が早かったことと、外国人の女性ということでもかなり厳しい態度で接してきた現地のスタッフもいました。小学校に上がったばかりの息子を迎えるに行く時間の制約もありました。

それでも海外で仕事を続けられたのは、自分本位の考えで行動するマイナーなグループとは比べものにならない数の、家族、友人、仕事の仲間が、私を支え、守り、力になってくれたからです。そして、日本と台湾を跨过10年に及ぶこのホテルでの経験は、公私にわたる人脈の広がり、更に様々なネットワークを通じて多くの素晴らしい方々にお会いするチャンスも与えてくれました。

その内の1つが、日本工商会（台湾での日本商工会議所）と日本人会の理監事会の任務です。台湾では欧米諸国と同じように女性が活躍する機会が多く、要職に就いている女性の数も全体の3分の1以上を占めていますが、商社、銀行、メーカー、航空会社などの日本を代表する企業で構成されている日本人会の理監事会には女性は当時2名のみでした。

理監事の皆さまは日本だけでなく、世界経済の動向や国際関係などをいつも日経新聞に記事が出るより早く教えてくださり、大変感銘を受けたのを覚えています。お互いの信頼関係も厚く、2年続けて工商会の選挙管理委員長の大役も仰せつかり、苦楽を共にしたこの頃のメンバーとは、今でも数ヵ月ごとに東京で杯を酌み交わす大変いい仲間となっています。

そして、この写真を撮った後、2009年12月末に18年ぶりに帰国することになりました。実はこの時、台湾で次のホテルの総支配人の仕事も決まっていた、このまま一生、海外で暮らすことになると思っていました。父が2度目の脳梗塞になり会社を経営するのが難しくなったとき、日本に帰って会社を継ぐよう電話がありました。弟がおりますので、私が帰る必要があるのか、とかなり考えましたが、減多に頼みごとをしない母からの2度目の電話と、妹の説得で帰国を決めました。

日本に帰国してもうすぐ6年になりますが、現在は中区丸の内、久屋大通にあります（株）リブレの代表取締役を務めております。弊社は東桜にある「旬彩神楽家」を初めとする飲食の事業を名古屋と

台湾で展開している他、陶磁器類等の物品販売、講演会などの各種イベントの企画・運営なども手掛けております。

ここには不動産関係のお仕事の方も多いのでご存知かと思いますが、父は以前、中部地区の不動産デベロッパーで「地上社」という会社を経営しておりました。名古屋市と近郊で、黒川紀章氏設計による名古屋初の億ション、エスポア東山を代表とするタンポポマークが付いているマンション群や、多治見にホワイトタウンという街づくり、鳥羽のリゾートホテル、内海・浜名湖のリゾートマンション、また、東邦ガス・リンナイ様とのジョイントで、三重県のゴルフ場なども手掛けておりました。バブルが崩壊して間もなく、父が最初の脳梗塞を患った時、会社は銀行の手に渡り、何ヶ月もの下呂温泉でのリハビリから戻ってきた後に作ったのが、今のリブレという会社です。

そんな中、日本料理店の神楽家は父が「東桜庵」として開業してから今年で30年になります。元々長年慣れ親しんだ方法でお料理を提供し、慣れ親しんだお客様を中心に ご愛顧いただいている店でしたが、リーマンショック直後の経済環境や名古屋をとりまくビジネス事情も大きく変化しつつある中で、必須の改善点が幾つもございました。

2010年1月に着任してから、私は経営の中心となる基本方針を考え、従業員、業者の方々と共有しました。まず、従業員教育を徹底してプロ意識を育て、サービスの向上を図る。そして、昔ながらの馴れ合いや家内工業的な経営を排除し、従業員にはフェアに接する。また、徹底した効率化で無駄を省き、逆に必要なものには惜しみなく先行投資する。社員には制度・待遇を整備することで、健康で安心して働ける環境づくりに力を入れ、その代わりに、プロとしての成果を求める、ということでした。

更に、綿密な市場調査と研究、業者の皆さまの協力により、お料理の質を上げると共に築90年近い建物の設備等、ハード面も充実させました。結果、景気が悪くなると価格に目が行きがちになりますが、売り上げ拡大の為に単価を下げるのではなく、逆に単価を上げて納得のいく事業内容としました。つまり、「経営者は従業員とお客様双方の満足と幸福を徹底して追及する。」という指標でした。

最初は慣れないビジネス環境の下、多少当惑を覚えたこともありました。しかし実際に事業に関わってゆくにつれ、ビジネスの根幹はそれまで私が長い間過ごしてきたホテルのビジネスと共通部分が多いことにも気が付きました。

例えば〈おもてなしの正解は1つではない〉ということ。〈国が違って、人を動かすのは脅威ではなく、思いやる心と言葉〉だということ。経営面には、予算の作り方なども台湾オーナー側と日本本社の方式の両方に携わってきたことが、今でも大変役に立っています。

ホテルで仕事をしている時には、少し無理なお願いや、本来、仕事ではない種類の頼まれごとも多々ございました。そういったことも迷うことなく誠心誠意お手伝いして参りましたが、結果として、その頃のお客様が帰国した私の事業を親身にサポートしてくださり、これも損得勘定のない「無関係の関係」で築いた人との繋がりが自分にとってかけがえ

のない財産になることも実感致しました。

弊社は現在台北に支店を持っておりますが、ここを開店するときも台湾駐在時代に私を知っていた方が現地側のパートナーとの間に入り大きな力になってくださいました。名古屋の事業が安定してきた頃、台北での本格的な日本料理の需要が高まっているので「神楽家」を進出してみませんか、とのご提案を頂戴しました。

開店予定の場所は台北市の中心部にございます「そごうデパート」のレストランフロアで、ここは台湾でも最も競争の激しい場所であるのみならず「神楽家」が従来名古屋で得意としてきた接待需要ではなく、どちらかといえば台湾富裕層のお買い物にいらしたお客様が対象という、様々なチャレンジに満ちたプロジェクトでございました。いくつもの困難をクリアしていく過程で、ここでも私が長年台湾で構築してきた人脈が大きな助力となってくれましたことは言うまでもありません。

今年の4月からは「台湾観光協会中部連絡所」の顧問職を兼任しております。台湾観光協会は、日本の国交省にあたる台湾政府の運営する日本の拠点ですが、この活動を通じて日台の観光交流が更に大きな広がりを持ち、双方の友好関係、経済面にも良い影響を与えることを心から望んで、活動のお手伝いをしております。

これまでを振り返りますと、海外生活やそこでの仕事を通じて、日本という国や日本人を海外の視点で見つめ直す機会に恵まれた事が、現在の仕事に大きく役立っていると思います。私は少し長い旅の末、生まれ故郷の名古屋に戻り、父親の築いた事業を更に多くのお客様に喜んでいただく事に言いようのない喜びを覚えております。今後とも周囲の皆さまに支えられながら、この地に貢献して参りたいと思っております。

そんな中、このRCに入会させていただきました事は、大きな励みでございます。この活動を通じまして、更に多くの方と知り合い、また、今までお世話になった方々への恩返し及び広い範囲での社会貢献ができればと切望しております。先輩方には、引き続きご指導を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

◆高橋 司さん

皆さま、こんばんは。国際色豊かな日下さんの後で非常にやりにくいのですが、7月から有川さんのご推薦により入会させていただきました、高橋司です。有川さん有難うございました。

今日は皆さまの貴重なお時間を頂戴し、イニシエーションスピーチをすることとなり、1ヵ月くらい前から慣れないことをすることに大変プレッシャーを感じており、今も大変緊張しております。お聞き苦しい点もあろうかと思いますが、どうかよろしく願います。

まず私の自己紹介から始めさせていただきます。名前は高橋司です。念のためですが、現在話題となっています反社会勢力の方とは一切関係はございません。生年月日は昭和42年6月15日生まれの48才、今年年男、未年です。血液型はA型、よく言わ



れるA型の典型的なタイプかと思います。家族は母、妻、長男、長女と私の5人家族です。

現在の住居は天白区焼山に住んでおります。出身校は日進西高校、愛知学院大学を卒業し、これまで名古屋から出て生活したことは一度もありません。趣味はゴルフ、今日もゴルフをしてきましたが、今日はベストスコアが出て非常に気分がいいです。それから麻雀、仕事帰りに結構やっています。あと、美味しいものを食べに行くこと。手頃な価格で美味しいお店を聞くとすぐそのお店に食べに行ったりしています。皆さまもぜひ教えてください。デパ地下での食料品の買い物、夕方になると安くなるので夜のおかずを買いに行くのが好きです。料理は結構得意です。特にカレーとかシチューとか煮込み系の料理はよく作ります。結構、女性らしいかもしれませんね。最近続けていることはプールで歩くこと。3日に1回くらい近くの市民プールで運動不足を解消しています。

職歴等についてですが、大学を卒業後、母方の祖父、叔父が郵便局の局長をしていたこともあり、日本郵便通送株式会社、現在の日本郵便輸送株式会社に入社、この会社は全国に郵便とか小包を運ぶ会社で、ほぼ100%郵便局からの仕事をしているので、株式会社といっても、民間会社と比較すると公務員のような感じの職場でした。ノルマ等は一切なく、派閥とか、労働組合とか元気がよく、中間管理職で嫌な上司、出来の悪い部下にぶち当たったことも原因で会社に嫌気がさし、16年務めました。退職する決意をし、叔父からの進めもあり特定郵便局長を目指して郵便局の窓口でアルバイトをしながら郵便局の実務を勉強していましたが、民営化のあおりを受け、外部からの採用は一時ストップしたことから郵便局長になるのを断念し、自分で就職先を探すことになりました。

当時39才という年齢での転職は想像以上に厳しいものがありました。募集している会社数社に面接に行くも、不採用がほとんどで、このときは、世間は厳しいと切に感じました。なんとか知り合いの不動産会社社長の紹介で春日井の不動産会社、株式会社アーバンクリエイイトに就職、ケインコスギさんのCMで有名なセンチュリー21の加盟店に7年間、サラリーマンとして勤務しました。

不動産の仕事の特にしたかったわけでもなく、その会社に拾ってもらったという表現が適切で、感謝しています。未経験でスタートした不動産の仕事でしたが、宅建の資格も取れ、2年前に株式会社つかさ不動産を設立し、有川さんと同じACEの会という旭化成さんの土地無し客の土地を探す仕事をメインにしております。

会社店内はキッズスペースもあり、お子様連れでも安心してご来店いただけるようになっています。社員は雇っておらず、私と妻の二人でしています。くまとうサギのロゴで紫の看板が日印で昔の春日井警察署前旧19号沿いに面しています。ぜひ皆さまもお近くにお越しの際はお立ち寄りください。

子供の頃の私は未熟児として1600グラムくらいで産まれました。私は9つ上の兄と二人兄弟なのですが、途中母親は2度流産しており、私のときも危なかったと聞いております。医者からは、「産まれたとしても3日くらいしか命がないかもしれない」「い

ろんな障害が残る可能性もある」「産まない方がいい」と言われていたようですが、母親は何としても産みたい気持ちが強かったようで、産むことを決断し、産まれて1ヵ月くらいは退院できず保育器に入っただけでしたが、大病もせず今日まで生きていることは、両親に対し感謝の気持ちでいっぱいです。

右側の写真ですが、私と母親とで、長野県野尻湖で撮ってもらった写真です。野尻湖には別荘があったため、毎年夏、冬はここでのんびり過ごしていました。父方の祖父は東海テレビの初代会長をしていたこともあり、ロータリアンだったと聞いています。自分で言うのも大変恐縮ですが、子供の頃はかなりお坊ちゃまだったのではなかったかと思います。未熟児で生まれたことで、小学校低学年までは食が細くガリガリでしたが、小学校高学年くらいからは、体質が変わったのかよく食べるようになり、未熟児が肥満児に変化していきました。

父親は私が中学二年生の時48才の若さでガンで亡くなり、9才年上の兄は7年前に50才で病気で亡くなり、妻からは早死にの家計とひどいことを言われ、あなたは49才じゃないのと笑えない冗談を言われておりますが、二人の分も長生きしたいなと思っております。

結婚式での写真です。妻は1才年下です。テニスサークルで知り合い、テニス仲間とともに蓼科の教会で結婚式を挙げました。ついこの間のような感じがしますが20年が経過しました。早いものです。私の子供達です。長男は大学1年生で京都の大学に通っています。来年は20歳になるので、一緒にお酒が飲めるのを楽しみにしています。長女は高校2年生です。長男は温厚な人懐こい性格ですが、長女はお小遣いを渡す時と、娘の機嫌がいい時でないときあまり話はしてくれません。さみしい感もしますが、何処の家庭もそんな感じなのでしょうかね？

とりとめのない話を聞いていただき、有難うございます。今後、皆さまとますます親睦を深め、お近づきになりたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。以上でイニシエーションスピーチを終わらせていただきます。

第 1154 回例会 (10月 24日) のご案内

ワールドフード・ふれ愛フェスタ

■ 10 月度理事会 議事録 ■

報告者 坂本 晃さん

日時 2015 年 10 月 6 日(火) 19:30 ~
場所 名古屋マリオットアソシアホテル
17F『パイン』

出席者 鈴木、有川、木下、坂本、児島、
宮寄、鈴木、朝比、大平、山本、
江松

18名中11名参加

◎審議事項

一、再入会候補者推薦の件

<幹事 坂本 晃さん>

下村 徹嗣さん 再入会⇒承認

一、休会届の件

<幹事 坂本 晃さん>

東山 直史さん 10 月 11 月休会⇒承認

一、鬼怒川水害義援金の件

<幹事 坂本 晃さん>

10 月 13 日募金箱を準備して寄付を募り、10 万円を
目処に不足分はニコボックスより補填

一、ネパール訪問の件

<国際奉仕委員長 水野 俊男さん>

(代理 幹事 坂本 晃さん)

日程 10 月 9 日から 13 日

暖房器具購入のため、クラブより 80,000 円程度支
出するため、購入品の詳細、領収証など提示して
いただく。

クラブ、地区への報告のため、現地での不足品など、
帰国後報告をする。

◎協議事項

一、12 / 22 (火) 忘年家族会の件

<親睦活動・家族委員長 大平 明子さん>

昨年と同じバンドでの企画で、皆様へ案内を早め
に出す。

◎報告事項

一、会計中間報告 (9 月末) の件

<会計 宮寄 良一さん>

特に 9 月末までのため、問題はなし。

一、プログラムの件

12 月度・1 月度プログラムについて

<会場運営・プログラム委員長 山本 郁矢さん>

・12 月 8 日 外部卓話⇒ネパール訪問報告

※次回 11 月度理事会

11 月 17 日(火) 17:30 ~